

学校の窓

学校運営連絡協議会だより

西東京市立栄小学校

令和2年10月29日

令和2年度 第1回栄小学校学校運営連絡協議会が、10月29日（木）に開かれました。

◇校長挨拶◇

4月に本校に着任しました長尾と申します。本来でしたら、1学期にこの会を開いてご挨拶をさせていただくところでしたが、コロナ禍の影響から開催がこの時期となってしまいました。

学校が再開しまして半年が経ちました。皆様に、今の学校の様子をお伝えするとともに、色々なご意見を頂けると幸いです。

◇学校評価中間報告（学校から）◇

《学力向上について》【校長】

評価の説明をさせていただく前に、栄小の現在の様子をお伝えさせていただけたらと思います。

3月から5月末までの3か月間、西東京市の小中学校が臨時休業となりました。この間で登校があったのは、卒業式と始業式の二日間だけです。今年の1年生は、4月6日に入学式をして以来、2か月間登校はなく、再開できたは6月に入ってからとなりました。

3か月中断したところからのスタートになりましたので、一番心配されたのは、子供たちの心のケアをどうするかということでした。

感染防止対策として、日常的な部分では、登校の再開は、分散登校、時差登校から始まりました。時差登校は現在でも継続しておりますが、ほかにも現在まで継続しているものとして、給食時、体育時以外のマスクの着用、毎朝の健康カードの提出、共有物使用後や休み時間ごとの手洗い励行等、様々な取組をしております。また、子供たちの下校後に消毒作業を実施し、机を一人ひとり独立させての授業体制を取り、トイレや水道では一定の距離を保てるように表示を貼り付け、飛沫飛散防止対策としては、図工室や図書室では目の前に衝立を作る、理科室での実験や家庭科室での実技指導においてはフェイスガードをつける等の取組をしています。給食中は、会話禁止です。みんな同じ方向を向いて食べています。

こうした取組の中でも、合唱指導、調理実習はいまだにできておりませんが、けんぼんハーモニカやリコーダーについては、屋上での実施や、十分な距離を取る等の工夫をし、行えています。なお、今年度は健康診断が1学期にできなかったため、水泳指導は全市内の小中学校で中止となりました。

大きな行事についてですが、延期としていた運動会は、2学期に学年ごとのスポーツの日として実施しています。これまで、保護者の方の来校の機会もとても少なかったのですが、スポーツの日は、1世帯二人までの保護者の方をお招きしての実施となりました。

移動教室は全市的に中止となりました。学芸会も来年度に延期としています。1学期に予定していた遠足は全て中止となり、社会科見学については実施しております。これまでクラスに1台のバスでしたが、コロナ対策として西東京市では22人につき1台配車をするとし、最大で1学年バス6台で出掛けております。

学習状況についてですが、3か月授業がなかったため、6月からの授業は、前の学年の3月にやり残したところからのスタートになりました。今後また臨時休業が起こらない限り、今年度の学習は予定どおり履修を終了する見通しです。教員には、急いで進めるよりも学習の定着が大事であることを伝え、着実に進めるとともに、あわせて、授業時間数確保のために9月から月2回の土曜授業を実施しており、今年度は12回実施の予定です。

なお、避難訓練や交通安全等の安全にかかわること、命にかかわることについては、実施方法を工夫して行っています。

授業参観や学校公開はできていないため、学校 HP や、各学年、学級のおたよりを充実させる等して、保護者の方、地域の方に、今学校が何をやっているのか、どんな様子なのかをお伝えできるよう工夫しているところです。学校公開については、やることの方が不安であるとの保護者の方からの意見を頂いてもいるので、これからも慎重に進めていきたいと考えています。

また、今月 24 日に本校の 50 周年記念式典が挙行されます。式典に向け、練習や準備を進めているところです。

最後に、地域の方々や保護者の皆様との連携ですが、PTA の活動や地域安全連絡会の活動も中止・停止させていただいている状況です。小中連携等、この地区ならではの大切な行事もあるのですが、なかなかうまく進めることができない状況であります。互いの生徒・児童の作品の交換等、できる範囲で進めていきたいと考えています。

《学力向上について》【経営支援主幹】

今月、児童、保護者の皆様、教職員に、学校の取組目標に対する成果状況についてのアンケートを実施しました。

学力向上の項目については、いずれも非常に肯定的な意見を頂いています。ただ、今年度に関しては、時差登校等があった 1 学期は、朝学習や朝読書の時間が確保できない状況でした。時差登校は、2 学年ずつ、8 時 15 分から 25 分、25 分から 35 分、35 分から 45 分の 3 つに分けての登校だったので、3 つ目の時間帯の児童は、学校に到着するとすぐに 1 時間目の授業が始まる状態でした。2 学期になり、時差登校が 2 つの時間帯になったので、35 分から 45 分の間に、朝読書や放送を活用しての全校朝会ができるようになりました。

項目 1 番「朝学習、補習学習の充実」ですが、子供たちの評価は、学習が「よく分かる」という回答が大変多くなっています。子供たちの学習は、積み重ねがとても大事なので、ご家庭の方々にも協力させていただいて、例えば 2 年生の掛け算では、上り九九、下がり九九、ばらばら九九を子供たちが暗唱するのをチェックしていただくなど、学校だけでなかなか身に付けられないことも、ご家庭の協力を仰いで身に付けている状況があります。

項目 2 番「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」についてですが、主体的な学習については、今までどおり、一人でじっくり考えさせる時間・場面を取っているのですが、対話的な学習については、友達と意見を交換し、考えを広めたり深めたりするところが、座席を離しての授業の中で、今までのような隣同士やグループで活動するやり方が、なかなか取れない状況です。どのようにしたら密を避けて行えるのかということを探しながら取り組んでいるところです。この部分のご家庭の不安もあるかと思しますので、学校内で工夫した取組について情報交換しながら、子供のより良い成長につながるよう進めているところです。

項目 3 番「読書活動の充実」ですが、栄小では毎年 2 回、6 月にあじさい読書旬間、11 月にもみじ読書旬間と、それぞれ 2 週間の読書旬間を取っているところです。今年度は、6 月の実施はできませんでしたが、11 月は 9 日から 21 日まで読書旬間を行えるようになりましたので、子供たちには、この秋のいい季節に、素敵な本にたくさん触れてもらえるように指導していきたいと思えます。読書旬間中は、各クラスで書いた紹介文を廊下に掲示したり、あるいは、クラスの代表の紹介文を図書室前に掲示したりといった活動を行い、本を紹介し合い、素敵な本に触れ、心を豊かにする活動をしていきたいと考えています。

項目 4 番「「話す力」「聞く力」の育成」については、保護者の方から高い評価を頂いていますが、教員の数値としては、「対話的な学習場面を設定した」ことへの評価が低くなっています。児童同士が距離を取った状態で、どのような取組をすれば対話的な学習が上手にでき効果を出せるかということ、試行錯誤しながら取り組んでいるところであるためだと思われれます。取組に関する情報を共有しながら、子供の成長のために、より良い指導をと考えているところです。

11 月 6 日の記念集会ですが、集まっての集会はできないので、各学年（クラス）が、密にならないように気を付けながら出し物を撮影し、映像として、各教室でパソコンに映しながら集会を行うということになっています。授業の中でもそのような形で密にならないように工夫しながら取り組んでいるところです。学校の中で情報を共有できるようにしていきますが、皆様からも色々なご意見を頂いて、子供たちの成長につなげていけたらと思います。

《豊かな人間性の育成について》【研究主任】

項目5番「自立心及び自律心の日常的育成」です。自分で判断して実行していくということを実体的に指導していくという項目ですが、子供たちのアンケートでは、「自分のことを自分で言い、友達と協力することができますか」という質問に対し、とても肯定的に答えている児童が多いです。栄小の教育目標である「協力する子」の育成が、実現できているのかなと思います。それとあわせて、教員の質問「相手への思いやりや善悪の判断に基づいて自己選択・自己決定ができるよう指導した」への答えは、評価にばらつきがありますが、子供のアンケートの結果から見ると、自分で自分のことをしっかり言い、友達のことも思いやれている児童が多いので、教員が毎日指導をする必要がないことの表れと捉えることも可能です。対して、保護者の方の評価は低くはないのですが、子供たちの自己評価よりもやや評価が低くなっています。学校では頑張っても、家では気を緩めてしまうということもあるのかなと思います。

項目6番「自己肯定感及び自尊感情の育成」については、特に高学年は自分のよいところを言葉にすることを恥ずかしがったりしますが、それを踏まえても、児童の評価は高くなっています。教員の方も、子供を褒めたり、良いところを見つけたりということを念頭に指導を行っています。2学期は行事がたくさんあるので、子供たちの良いところを褒めてあげられる機会もとても多かったと思います。アンケート結果では、子供の良いところを家庭で話題にしてくださっている方も多く、とても嬉しく感じました。

項目7番「いじめ未然防止、早期発見、早期対応」ですが、子供たちの評価を見ると、「友達を大切にしていますか」という質問に対し、「している」がほぼ100%ということで、友達のことを大切にしたいという気持ちを持っている子供が多いことが分かります。喧嘩をしたり、相手を傷つけるということは、日々の生活の中ではありますが、その都度、手を借りたり、自分たち自身で解決をして、友達との関係を良好に保っているのではないかと思います。教員の方の評価は、まだ100%ではありませんが、しっかりと100%にしていくため、あらためて校内全体でいじめ防止の対策を取っていきたいと思います。栄小では、いじめアンケートを年3回取り、事前に子供の不安なことや心配なことを面談で聞き取っています。11月もありますので、子供たちの不安や悩みを早目にキャッチしたいと考えています。

《体力向上について》【研究主任、保健主任】

項目8番「持久走旬間、縄跳び旬間での自己記録を更新できるように働きかける」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、運動に色々と制限がありました。そのため、1学期や2学期の始めは、晴れていても外で遊べないときもあり、教員から子供たちに外遊びの声掛けができない場面もありました。その辺りが教員の指標には表れているのかと思います。反面、子供たちは遊べなかった気持ちがあるのか、遊べるときには自分から進んで運動していると思っている児童が多いのだと思います。長縄旬間については終わりましたが、色々と工夫をして、密に全員が集わないように時間差を設けたりして、なんとか工夫をして取り組んでいます。来月終わりから持久走旬間が始まります。例年と同じようにはできませんが、色々と工夫を考えて実施していきたいと思っています。休校中は家でもできるトレーニング、体を使った運動なんかも紹介してきただけですが、今年は色々と運動にも制限が掛かっていますので、そういった発信も学校からしていけたらと思っています。

項目9番「養護教諭・栄養士と連携した保健指導の年3回以上の実施」についてですが、実態として、健康診断の開始が遅れたため、2学期いっぱい健康診断を行っているということと、保健指導自体が9月と1月に全学級計測時に保健室で予定していたのですが、密を避けることを優先して9月は見送りました。1月は状況を見ながら教室での指導を検討しているところです。

給食指導については、1年生の給食開始に際し、配膳の仕方、食べ方、片付け方を中心に、教室で実際の流れ等の指導をするほか、生活科で行っている野菜の生育等と関連した内容について指導しました。

今年度、最も大事な指導の一つは、手洗い指導です。これから、水が冷たく、手洗いが辛い時期になってくるので、担任教諭をはじめ、学校全体での手洗い励行の取組を継続し、乗り切っていきたいと思っています。

アンケート結果について、児童の回答で「前よりけがや病気にならないように気を付けるようになりましたか」という質問に、児童のほとんどが「気を付けるようになった」と回答していることに、大変すごいなと感動しています。保健室に、怪我や病気で来室したら、少し時間はかかりますが、今の状態を振りかえってもらい、振り返りから、原因と改善点を考えてもらうようにしています。怪我をした場合は、「周りを見ないで走ったからかな」、具合が悪い場合は、「朝起きて水分を飲むのが少なかったのかな」といったことです。後者の場合、実際に水を飲んで症状が回復するのを体験することで、体調の整え方を身に付けてもら

えるとよいと考えています。健康に関しては、理解しているけれど行動に移せないというところも課題と感じているので、実際に体験してもらうことを大事にしています。

今年度の特有のこととして、毎朝、健康観察カードに体温を測り、項目に沿って健康状態をチェックしてもらっています。これを、「一番健康状態がいい」「ちょっと疲れている」「少し風邪気味かな」等自分の健康状態を意識する機会と捉えて、自分の身体、健康に関心を向けてほしいと考えています。

感染症に関しては、これから冬に向けて、とても心配をしています。学校では、原則、発熱がなくても体調が悪ければ早帰りの対応としていますので、今後ご理解ご協力をいただけたらと思います。

《教育環境の充実について》【生活指導主任】

いつも子供たちの見守りをありがとうございます。項目10番「安全管理の徹底」ですが、今年度は、新型コロナウイルスの感染防止を第一にして、安全管理の徹底の視点から、「栄小のよい子の生活」をコロナ対応版にし、登校時の検温や手洗いの徹底、休み時間の校庭や図書室の使用割当、どの学年がどの時間に使うか、ということを作って密を避けるようにするなど、工夫しながら取り組んできました。また、児童が安全で清潔な環境で過ごせるように、人権的な配慮がなされるように、毎日の清掃や消毒、整理整頓などをし、掲示物にも配慮しながら、教職員が日々努力してきました。アンケートでもその点が、児童の自己評価の高さや保護者の方々が肯定的に評価してくださったことにつながったのかなと思いました。また、項目11番「他者との関係づくり」について、挨拶については、本校ではもう少し取り組んでいく必要があると感じています。教員自身の評価が少し低くなっています。これは、例年、挨拶運動に各クラス取り組んでいますけれども、今年度は新型コロナウイルス対応のため、取組自体ができなかったためだと思われます。コロナ禍でできる工夫した取組を考えていきたいと思っています。そして、児童の自己評価が高いことに対し、保護者の方の肯定的評価ではありませんが、「どちらかと言えばしている」の評価の割合が高いことに対して、客観的に見ても、きちんと挨拶ができているなどと思ってもらえるような子供たちに育てていきたいと思っています。

《協働関係の強化について》【教務主任】

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

項目13番「地域の活動等への意欲的な取組の指導」については、今年度実施できていないのでアンケートを行っておりません。

項目12番「保護者・地域人材を活用した授業の年3回以上の実施」についてですが、今年度は新型コロナウイルス対策のため、例年どおりとはいかない教育活動となっていますが、先日開かれたスポーツの日では、地域安全連絡会の皆様が50周年の記念作品の制作のお声掛けをくださって、多くの方が参加してくださいました。また、周年に関わり地域の方にお話を伺ったり、もぐらの会の読み聞かせや、外国語ボランティアの方による外国語活動を行っているところです。まだ年度途中のため、実施していない学年もあり、教員の数値として低くなっていますが、児童・保護者の方からは高い評価となっています。これは、やはり、地域の皆様が日頃から栄小のためにご尽力をいただいていることを実感しているからだと思います。50周年を迎え、今月、全校朝会で、校長より改めてさかえちゃんというマスコットを通じて地域の方に見守られているんだよ、という話がありました。子供たちは改めて、そのことを実感していたと思います。これからも地域の方々と共にある栄小であり続けていけるようにしたいと思います。

《業務改善について》【副校長】

項目14番「業務の効率化」についてです。教職員が毎日元気に過ごせるということが、学校において授業をする上でも、児童に接する上でも、学校運営にとっても大切な一つになっています。また、職員一人一人のライフワークを維持する上でも重要です。栄小学校では週当たりの勤務時間を53時間以内ということを取組目標としています。週5日勤務とすると、1日当たり10時間ほどとなります。朝7時半に出勤をする5時半には退勤となり、なかなか現実には厳しいところですが、目標の達成のため、会議の精選や、業務改善に努めているところです。アンケート結果の数値を見ると、教職員の意識状況にばらつきはありますが、4月からの様子を見ていると、極端に超勤をしている職員はおりません。しかしながら、在校時間10時間を超えて退勤している教員は見受けられます。管理職としては、積極的な声掛けにより教職員の意識を高めるとともに、会議等の設定も工夫していきたいと考えています。今年度は、コロナ感染症への対策を取って、様々な行事を中止・変更しての教育活動になっています。来年度に向けて計画していく時期となりましたが、

重要な部分は維持しつつも、教員一人ひとりの業務時間内に勤務を終えられるよう、業務の効率化、会議の精選、行事の精選などを行って、教材準備など大事なことに時間を費やせるように、教職員が元気で働け、活気ある栄小になるように、働き方改革をさらに進めていく必要があると考えています。

◇委員の皆様からのご意見◇

- ・ 協働関係についてですが、9月1日に青嵐中で引取り訓練が行われ、保谷第一小で子供を引き取って青嵐中に来るという内容でした。この地域は、小中連携で、様々なことを同じような形式で行っているというスタンスを取っているのので、次年度はぜひ栄小も一緒にできるとよいと思いました。地震等の災害が起こるときは同時に起こるので、栄小の保護者の方にも同じ動き方をしていただけるといいかなと感じました。

（学校より）次年度はぜひそのようにやっていきたいと思います。

- ・ 栄小の話ではありませんが、コロナの影響で休校が多かったので、家庭学習が多くなり、仕事をしている保護者の方と専業でいる保護者の方とで、かなり子供の学習の習得状況に格差が出てきていると聞きます。1年生では特に、入学式後には休校なので、影響が大きいと思います。先生方も、年度内に学習内容を終わらせたいという気持ちが強く、授業進度がとても早く、足し算についていけない、引き算になると引っかかってしまって、という子供もいるようです。学習は日々の積み重ねです。低学年のときの学習はとても大事だと思います。栄小でも、学習に困っている子がいたら、先生方から手を差し伸べていただけるといいかなと思いました。

（学校より）栄小では、丁寧に授業を進めるように、全体で周知しています。急がず、着実に進めましょうということを、折に触れて、校長から教員に伝えております。

- ・ 遊び場開放に来る子供が多くなりました。また、ランドセルにさかえちゃんのハンカチがちゃんとついていて、定着していることがよく分かりました。
- ・ 今日の説明を聞き、色々な取組をされていて、すごく素晴らしいと感じました。
- ・ 学力向上の項目 子供と親の受取方がこんなにも違うのかな 4と3で足せば同じような%であるからいいのかな 友達を大切にしていますか 100%素晴らしいな 色んなところでいじめの話の聞いたりしますが、この数値は素晴らしい。友達が何かあったときに誰かがかばうということがあると聞いているので、素晴らしいことだと思う。
- ・ 感染症の対策について、苦勞がすごくよく分かりました。スポーツの日、校外学習等、子供たちみんなが元気に過ごしているようなので、よかったと感じています。
- ・ 日常と違う生活環境の中で、先生たちが働きすぎないか心配です。先生たち自身の健康管理も気を付けていただきたいなと思います。また、保護者の方も色々心配があるかと思いますが、スポーツの日の参観では、学年ごとの実施となり、余裕をもって参観できることで、学年の様子がよく分かり安心された方もいるのではないのでしょうか。
- ・ 栄小と青嵐中の連携についてですが、例年ですと、1学期のうちに、保谷第一小学校も含めて、3校での授業公開や先生方との話し合い等を行っていますが、今年度はコロナの影響でできておりません。また、水泳交流会や部活体験も中止となってしまいました。このような状況下でも、連携の一環として、50周年では、中学生の作品を栄小に展示してもらおうなどの取組を行います。3校での連携は、西東京市が推進している小中一貫を先取りした形の取組や、3校独自の取組もあるなど、非常に強固な形でできております。栄小の卒業生が青嵐中にスムーズな進学ができるように、学校評価も参考にさせていただきながら、今後も、しっかりと連携を続けていきたいと思っています。